



池総 第 62 号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

岐阜県揖斐郡池田町役場  
池田町長 岡崎 和夫



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

みだしの件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

### 1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・基本方針に、スピード感を持った道路行政へとあります。地域の経済発展、物流の促進は、全て基本は道路整備とネットワーク化であると考えます。道路はつながってこそ生きるもの、そのために、東海環状西廻りルートを早く整備してほしい。事業化も含めて大都市圏を含む環状道路等は優先的に進めることが必要と考えます。
- ・大都市以外の地域での恒常的な渋滞箇所の解消対策。

### 2、効率化を進める上での重視すること

- ・全国一律の道路構造規格としないこと。人口減少時代を考えると、都市も地方でも一律の歩道であり、車道巾（車線巾）を設ける必要なし。地域に合った規格とすること。
- ・将来の交通量を明確にし、高速道、ハイウェイ等全て4車線化は必要ないと思う。費用対効果を明示し、採算のとれない道路は作らない。現に行われていると思いますが、事実としては、見通し甘いものが多すぎる。環境問題も併せて考えるのであれば、鉄道利用も考えることが大切。

### 3、その他

- ・国道、県道の管理については、地域沿道の住民も計画から参加し、緑地部分歩道の清掃を分担する位のことはあっても良いと考える。
- ・地域の活力、産業振興等の基本そのための特定財源として、車関連から税が徴収されている。道路整備が完了した訳でないのに、一般財源化は疑問。ルール化されたものは仕方ないとしても、これ以上の拡大はしないこと。その分は消費税で考える。整備のスピード化（集中化）を図ることによって企業進出等収入も増加期待大である。
- ・中期計画通りの実施と県負担分を3割から2割にすることにより、整備促進が図られる。